

# 安倍元首相「国葬」

## 知事、議長は 出席をやめるべきです

県を代表する立場にある知事、議長が「国葬」に出席すれば、憲法が定める「法の下での平等」「思想及び良心の自由」についての良識が問われます。

県民に対する弔意の強制につながりかねません。

県民も納めている巨額の税金が「国葬」に注がれることに目をつぶることにもなります。



加藤英雄県議、みわ由美県議が申し入れ



申し入れ書

全文 ⇒



日本共産党千葉県議団（加藤英雄団長・みわ由美県議）は9月7日、熊谷俊人知事（写真上）と佐野彰議長（写真下）あてに安倍晋三元首相の「国葬」に反対し、出席しないよう申し入れました。

知事、議長は、出席する意向で、県庁に半旗を掲揚する考えです。また県教委は、弔意表明を要請しない予定です。「国葬」の法的根拠はありません。憲法の「法の下での平等」（14条）、「思想及び良心の自由」（19条）に違反するものです。岸田政権は、国民からの大きな批判を受け、ようやく合計16億5千万円かかることを明らかにしましたが、これを大きく上回る費用となることは容易に推測できます。現天皇「即位の礼」（2019年）では、合計約90億円が予算計上されました。

応対した関雄二秘書課長は、国が国葬として執り行うのなら、知事は出席せざるを得ないとの考えを示しました。岡田健県議会事務局長は、正式な案内が未だにないが、全国議長会から日程については情報提供があり、国葬が予定されている9月27日は定例県議会の休会を議会運営委員会（9月8日）に提案すると述べました。

加藤県議は「コロナ禍や物価高騰の中、巨額の税金が注がれるという点でも県民の理解は得られない」と強調しました。みわ県議は「国葬反対の世論が多く、県の対応を県民は注目している」とのべ、重ねて国葬に出席しないよう求めました。

### 自民、公明、立憲・千葉民主 「国葬」優先し議会を休会に

8日の議会運営委員会で、自民、公明、立民・千葉民主は「国葬」が予定されている9月27日を休会にしました。

### 日本共産党一般質問

9月26日（月）  
午後1時45分頃

請願×切 9月28日  
に変更されました。

### 教員不足の解決めざす「提言」 県教育委員会に届けました



日本共産党千葉県委員会と同県議団が発表した深刻な教員不足の解決をめざす「提言」を県教委に届けました。